

令和3年度県立広島大学 卒業式・大学院学位記授与式
理事長祝辞

令和3年度県立広島大学卒業式・学位記授与式が挙行されるこの良き日にあたり、お祝い申し上げます。

卒業ならびに修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

ご家族や関係の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

本日は、ご家族の方々とともに会場でお祝いしたいと願っておりましたが、コロナウイルス感染防止のために、残念ながら、このような形での開催となりました。

ご家族の方々には、オンラインで繋がった様々な場所から、お祝いとお慶びのお気持ちをいただけましたら、誠にありがたく存じます。

皆さんは、この2年間、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、多くの授業や実習が対面からオンラインに変更になり、学修環境が大きく変化した中、かつて経験したことのない困難を乗り越え、学位を取得されたことに、心より敬意を表します。

さて、経済社会は、効率化や新サービス開発を目指したデジタル化の進展に加えて、コロナウイルス感染の拡大に伴うテレワークの進展や企業の事業再編の進行、ESG投資の広がり等、急激かつ大規模な歴史的変革が進行しております。

その上、ロシアのウクライナ軍事侵攻という平和を破壊し、経済も含めた安全保障上の枠組の構造的変化の事態の発生もあり、大激動の時代となっています。

大きな変革が進む中で、極めて重要なことは、「学び直し、リスキリング」です。これに取り組んでいただくことが大事になっています。「学び直し」は、皆さんだけでなく、社会全体に求められていることです。卒業したのに、また勉強かと思われるかも知れませんが、県立広島大学で学んだことに加え、生産性やイノベーション創出に繋がる、新たな知識やスキルを身に付け、大いに活躍され、社会に貢献されることを期待しています。

変化の先を見据え、何事にも果敢にチャレンジし、率先して変革を生み出していただく「新しい時代の担い手」になっていただきたいと願っていることを申し上げて、祝辞とさせていただきます。

ご卒業、誠におめでとうございます。

令和4年3月 広島県公立大学法人 理事長 土屋 定之